

からだのとしょしつだより

東邦大学医療センター大森病院 2号館3階

ボランティア見学会 新大橋病院へ

2019年9月28日(土)、渋谷から東急田園都市線で一駅の「池尻大橋」、新装なった東邦大学医療センター大橋病院に、大森病院のボランティア6名とボランティアコーディネータ2名、からだのとしょしつ司書1名の計9名で見学に向った。院内をきびきび案内して下さったのは、NHKのドキュメンタリー番組「命を運ぶ 大病院の引っ越し」でお見かけした看護師さんだ。

院内は各科の標識が進路に対して直角で非常に見やすく、患者さんは迷わず楽だろうとは、大森で患者案内に苦労しているボランティアの感想。

病院までのアプローチでは、大橋病院のシンボル、楠の大木が目を引く。玄関を入るとすぐセブン-イレブンがあり、その向いが患者図書室「くすのき」だ。大森病院のからだのとしょしつが、奥まったところにあるのとは対照的だ。しかも、広いガラス張りのエントランスで、至極開放的。39㎡の室内に医学書や病気に関するパンフレットが並んでいるのは、変わらないが、院内各診療科の呼出番号が一覧できるインフォメーションボードがある。これは患者さんにとって大変便利だろう。

面白い備品を見せてもらった。筆談ボードである。本来は難聴者や発声障害者用だが、難しい病名などの質問情報をやり取りする時に便利に使っているという。ボランティアは導入しておらず、派遣事務の方が司書のサポートに入っているそうだ。

4階には、教職員・学生のための「医学メディアセンター大橋病院図書室」がある。ゆったりとしたスペースで6、500冊余の図書のほか、電子ブックや電子ジャーナルが利用できる。入退館システム、自動貸出機などを完備し、急なニーズにも対応している。




病院の周辺の自然環境は素晴らしい。幅1メートル、深さ20センチほどのミニ目黒川が病院の桜並木の横をゆったり流れ、鯉やハゼなどがいて、とんぼなども多い。蚊も多い。

「くすのき」を見上げて春の小川かな

椋鳥 (からだのとしょしつ ボランティア 椋尾尚司)



からだのとしょじつボランティアの おすすめ本

	<p>健康食品・サブリ「成分」のすべて ナチュラルメディスン・データベース日本対応版 日本医師会ほか 総監修；田中平三 ほか 監訳. 2019.7 同文書院</p> <p>約 1200 種の健康食品・サプリメント・ハーブの有効性、安全性、相互作用、使用料の目安などが掲載されています。</p>
	<p>新版 ステロイドがわかる本 宮坂信之 編著 2016.6 法研</p> <p>膠原病・リウマチ内科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、皮膚科、腎臓内科、眼科、その他の内科疾患の7つの診療科目のエキスパートが、病気別にステロイドの最新情報を解説し、副作用の不安を解決します。</p>
	<p>東洋医学基本としくみ：最新カラー図解 仙頭正四郎 監修 2018.6 西東社,</p> <p>西洋医学と組み合わせる統合医療でも注目される東洋医学。東洋医学ならではの健康観や、診断法、漢方・鍼灸などの治療法、食養生などの最新情報を、わかりやすい図解で網羅的に紹介しています。</p>

からだのとしょじつ」は、どなたでもご利用になれます。

入院患者さんやそのご家族には、貸出しもできます。ぜひ「からだのとしょじつ」をご利用ください。

編集・発行：からだのとしょじつ
 東邦大学医療センター大森病院 2号館3階
 <開室時間>
 月～金曜日 9:30～16:30
 (第2火曜日 9:30～14:30)
 土曜日 9:30～14:00
 (第3土曜日は休室)
 電話 03-3762-4151 内線 3519
<https://www.mnc.toho.ac.jp/mmc/karada/>



© 2011 Toho Univ. JIC & SUNMEDIA

2号館3階案内図

